

弊社役員、早期地震検知手法の研究成果で「文部科学大臣表彰」受賞

弊社役員（小高俊一代表取締役社長と芦谷公稔取締役の二人）が、2005年日本地震学会論文賞と平成18年度文部科学大臣表彰科学技術賞（開発部門）を受賞しました。

平成18年度文部科学大臣表彰科学技術賞 （開発部門）

業績名「早期地震警報のための地震諸元推定方法の開発」

概要

日本地震学会論文賞の技術を応用して、観測点に到達した地震波のはじめの1～3秒間を解析して、即座に震央の位置と地震のマグニチュードを推定し、それに基づいて警報を発する早期警報用地震計システムを開発しました。現在、新幹線沿線や気象庁の地震観測網等で使用していただいています。

なお、同地震計システムは、対応が難しいと言われている直下型地震にも、P波到達後1秒程度で警報を発する（パラメータチューニングによって）ことで、ある程度の対応が可能（余裕時間を生むことができる）と考えています。



表彰式会場での記念撮影（中央左が小高、右が芦谷）

写真提供：鉄道総合技術研究所

